

私は今回三好さんのお話を聞いて過去を振り返る重要さを知った。私が特にお話の中で心に残ったのは、ジョン・レノンの「イマジン」が流れ、過去の戦争を振り返る場面である。今回のお話で初めて聞き、英語の歌詞なので所々聞き取れない部分もあったが、お話をきいたあとも頭に残り続けたので家に帰り、家に帰ってからもジョン・レノンの「イマジン」を聴き、この作品のメッセージ性に改めて気付かされた。

歌詞は最初「想像してごらん？ 天国も地獄もないだろう」といった内容から始まる。無神論的な詞には、前時代からのさまざまな柵に拘泥（こうでい）してしまう人々への解放の祈りを感じる。この後にも平和への祈りの内容が綴られているわけだが、歌詞の中にもある通り、夢想家の意見だとも思ってしまう。だが、同時に理想論を忘れてはならないということも強く感じた。理想論を非現実的であると批評することはたやすく、またそれは間違っていない。だが根底にあるものを忘れてはならないのである。また、そのバックに流れていた過去の戦争の解説を通し、現在、ロシアとウクライナ間の戦争が行われているときだからこそ過去を振り返り、自分に出来ることを何か小さいことでも探してみようと思った。東西冷戦が終結したように今回の戦争も終わることを信じている。そして日々たくさんの人権や命が軽んじられていることが、報道を通して我々に伝わってきている。

地理クイズは、まったくわからず、情報を知るときには地理までちゃんと覚えておこうと決めた。

上記以外にも貴重なお話をありがとうございました。